

2016年3月期 第1四半期 決算説明資料

- 1) 決算概要
- 2) 決算のポイント
- 3) 商品群別売上高
- 4) 国内売上高
- 5) 海外売上高
- 6) トピックス
- 7) 減価償却費と研究開発費
- 8) 上期業績見通し
- 9) 上期業績見通し 修正点
- 10) 通期業績見通し

日本光電工業株式会社

銘柄コード: 6849

2015年7月31日

1) 決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	2015/3 第1四半期	2016/3 第1四半期	増減率 (%)
売上高	30,982	32,687	5.5
国内売上高	23,700	23,971	1.1
海外売上高	7,282	8,715	19.7
営業利益	1,051	132	△ 87.4
経常利益	971	610	△ 37.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	539	239	△ 55.6

● 為替影響除く: +7%

	2015/3 Q1	2016/3 Q1
粗利率:	50.7%	→ 47.6%
販管费率:	47.3%	→ 47.2%

● 為替差損益: 差損2.0億円 → 差益3.5億円

平均レート	(2014/6)	(2015/6)
1ドル	102.4円	120.9円
1ユーロ	140.4円	132.9円

2) 決算のポイント

売上高：前年同期比 5.5%増

- ・国内：診療所市場、PAD市場におけるAEDの販売、大学市場は好調に推移。官公立病院、私立病院市場は減収。
- ・海外：全ての地域、全ての商品群で増収。

営業利益：前年同期比 87.4%減

- ・原価率：国内事業における売上構成の変化により上昇。
- ・販管費：業容拡大に向けた人員の増強、販促活動の強化により増加。

経常利益：前年同期比 37.1%減

- ・為替差損益が差益に転じる。

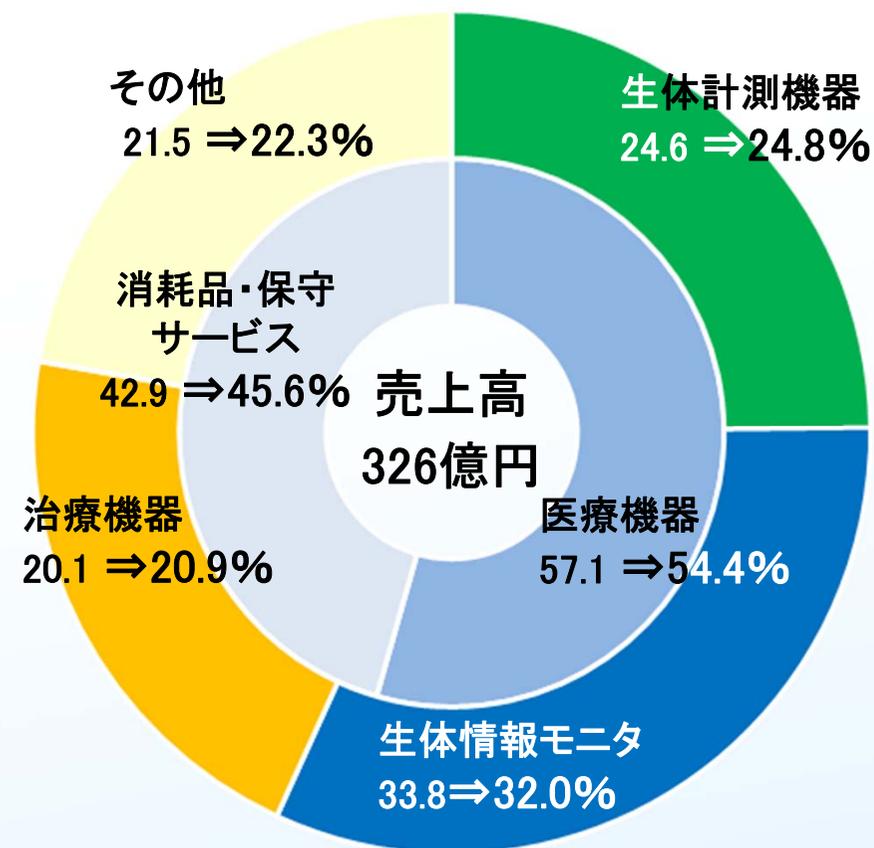
3) 商品群別売上高

(単位:百万円)

	2015/3 第1四半期	2016/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	7,632	8,110	6.3
生体情報モニタ	10,471	10,472	0.0
治療機器	6,221	6,824	9.7
その他	6,657	7,279	9.3
売上高合計	30,982	32,687	5.5
(ご参考)			
消耗品・保守サービス	13,300	14,889	11.9

商品群別売上構成比

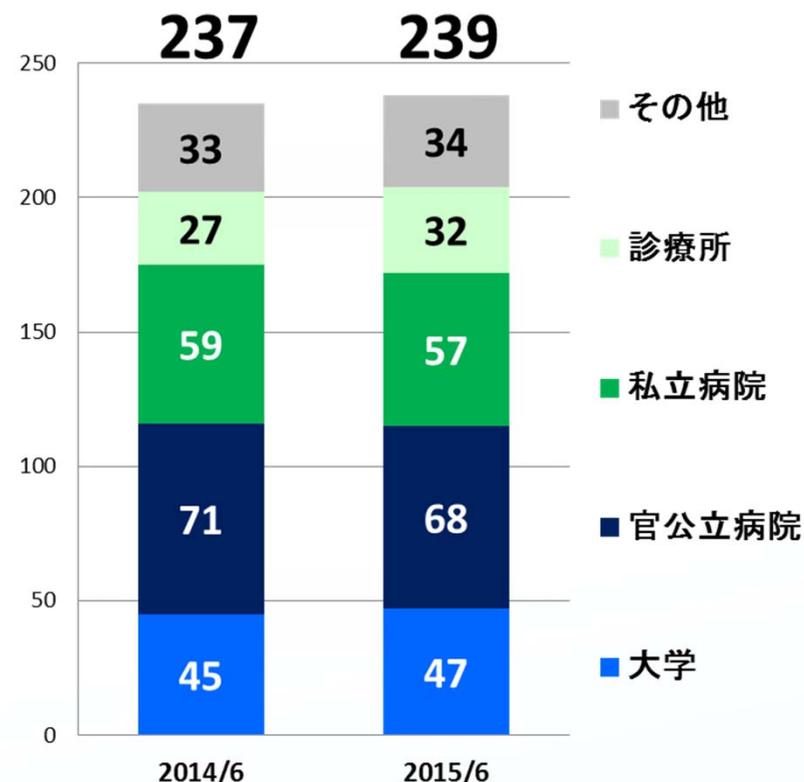
(2014/6 ⇒ 2015/6)



4) 国内売上高

【市場別売上高】

(億円)



【商品群別売上高】

(単位:百万円)

	2015/3 第1四半期	2016/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	5,933	6,179	4.2
生体情報モニタ	7,087	6,655	△ 6.1
治療機器	4,861	4,984	2.5
その他	5,818	6,151	5.7
売上高合計	23,700	23,971	1.1

【市場別】 診療所市場、大学市場は好調に推移した一方、官公立病院、私立病院市場が前年同期を下回る。

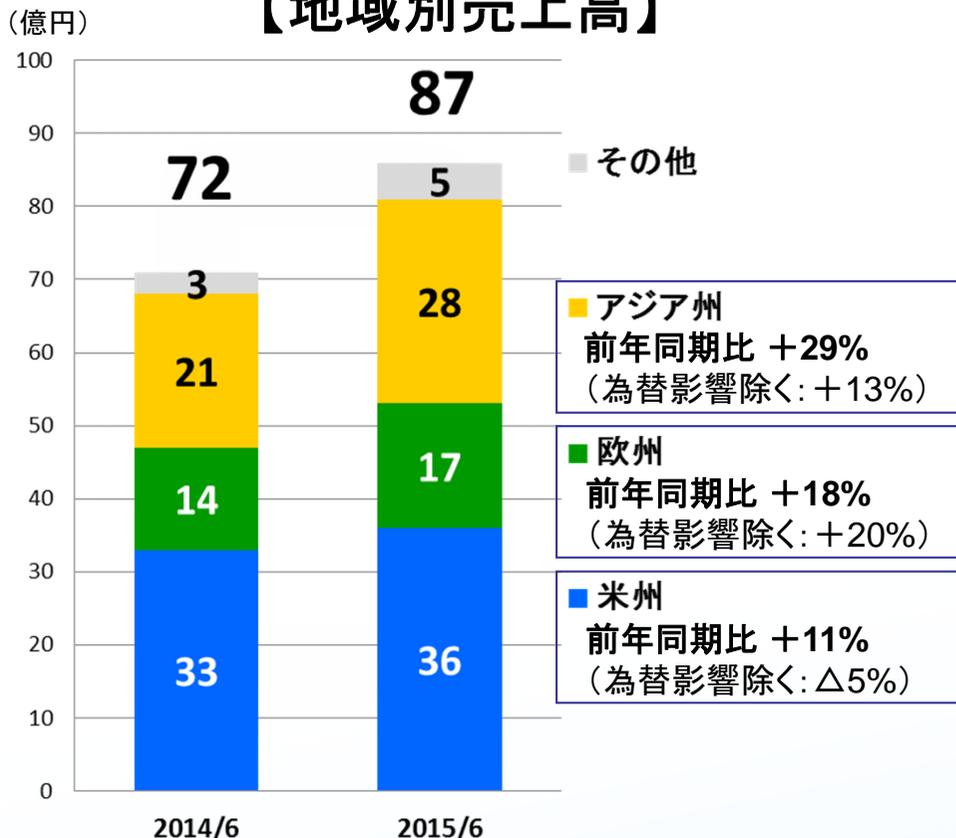
【商品群別】 生体計測機器： 心臓カテーテル検査装置群、診断情報システムが好調に推移。
心電計群は微減、脳神経系群は前年同期を下回る。
生体情報モニタ： 臨床情報システム、消耗品・保守サービスは好調に推移するも、送信機、ベッドサイドモニタが低調。

治療機器： AEDが好調に推移。

その他： 検体検査装置、仕入品ともに、前年同期を上回る。

5) 海外売上高

【地域別売上高】



【海外売上高比率】

2015/3 第1四半期	2016/3 第1四半期
23.5%	26.7%

【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

	2015/3 第1四半期	2016/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	1,698	1,930	13.6
生体情報モニタ	3,384	3,817	12.8
治療機器	1,359	1,840	35.3
その他	839	1,127	34.4
売上高合計	7,282	8,715	19.7

為替影響除く: +7%

【地域別】

米州: 中南米が減収となるも、米国は前年同期を上回る。

欧州: 欧州グループ内の組織再編により販売・サービス体制の強化を進めるドイツを中心に好調に推移。

アジア州: 現地販売・サービス体制の強化を進めるインド、韓国、中近東が大幅に伸長。中国も好調。

【商品群別】

生体計測機器: アジア州で脳神経系群、欧州で心電計群が好調に推移。

生体情報モニタ: 全ての地域で好調に推移。特に、欧州、アジア州で、売上が大幅に伸長。

治療機器: 全ての地域で除細動器、AEDが好調に推移。

その他: アジア州で血球計数器が好調に推移。

6)トピックス

第1四半期の 主な新商品

生体計測機器



臨床用ポリグラフ 「RMC-5000」

導出18誘導心電図をはじめ、BIS、CO₂などが測定可能。心臓カテーテル検査室に加え、ハイブリッド手術室にも対応。(国内向け)

日本光電アメリカ デフィブテックと連携強化

2015年7月から、北米で
デフィブテック製AED 5機種 of 取扱開始



日本光電製

生体情報
モニタ

デフィブテック製

New!

救命救急
分野



脳神経
系群



自己株式の消却・取得状況

5/20

180万株を消却



6/2

20万株を取得



自己株式保有: 207万株

(持株比率: 2.3%)

7) 減価償却費と研究開発費

(単位:百万円)

	2015/3 第1四半期	2016/3 第1四半期	増減額	2015/3 実績	2016/3 計画
減価償却費	753	747	△ 6	3,445	4,200
研究開発費	1,309	1,254	△ 54	5,745	6,400

【2016/3期設備投資計画】

○新製品の「型」投資、工場生産設備、販促用製品、ERPシステム

○所沢 総合技術開発センターの建設

{ 着工:2015年4月
 完成・移転:2016年夏
 設備投資額:72億円 < 2016/3:35億円
 2017/3:37億円

2015年5月
富岡生産センター 稼働開始

○朝霞 事業所の建設(免疫試薬部門の移転)

{ 着工:2016年1月
 完成・移転:2016年冬
 設備投資額:約12億円



8) 上期業績見通し

(単位:億円)

	2015/3 上期実績	2016/3 上期			
		期初予想 ①	7月31日 修正予想 ②	予想差 (②-①)	対前年同期 増減率(%)
売上高	720	785	740	△ 45	2.7
国内売上高	556	—	—	—	—
海外売上高	163	—	—	—	—
営業利益	55	60	35	△ 25	△ 36.4
経常利益	60	60	40	△ 20	△ 34.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	41	41	26	△ 15	△ 36.9

※7月31日時点の、第2四半期以降の為替の前提は、122円/米ドル、135円/ユーロです。

9) 上期業績見通し 修正のポイント

売上高：740億円（前回発表から45億円減）

・国内：減収の見通し

大学、官公立病院の予算執行が下期偏重
前年同期の私立病院市場の需要の反動

・海外：前年同期比20%増程度の見通し

当初見込んでいた伸びには届かないが、
第1四半期の水準を維持

営業利益：35億円（前回発表から25億円減）

・原価率：前年同期並みにとどまる見通し

・販管費：業容拡大に向けた人員の増強、販促活動の強化、
研究開発投資により、前年同期に比べ増加の見通し

10) 通期業績予想は据え置き

【商品群別売上高】

(単位:百万円)

	2015/3 実績	2016/3 予想	増減率 (%)		2015/3 実績	2016/3 予想	増減率 (%)
売上高	160,803	172,000	7.0	生体計測機器	37,180	40,400	8.7
国内売上高	122,490	126,000	2.9	生体情報モニタ	53,068	59,050	11.3
海外売上高	38,313	46,000	20.1	治療機器	29,393	32,050	9.0
営業利益	15,921	18,000	13.1	その他	41,160	40,500	△ 1.6
経常利益	17,234	18,000	4.4	売上高合計	160,803	172,000	7.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,142	12,100	8.6	(ご参考)			
				消耗品・保守サービス	61,426	65,750	7.0

- ・国内外ともに売上が下期偏重、収益改善策の取り組みを強化
- ・上期業績・下期の見通しを見極め、必要あれば第2四半期決算発表時(11月4日予定)に修正する予定

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】 経営企画室

【連絡先】 TEL03-5996-8003